設楽発掘通信

No.12
平成２７年
８月号

家族で歴史を体験発掘！
参加者募集

設楽ダム関連事業に関わる発掘調査は、現在、笹平遺跡（小松所在）・川向東貝津遺跡・大栗遺跡（川向所在）の本調査と大畑遺跡（川向所在）の範囲確認調査を行っています。このうち、笹平遺跡と川向東貝津遺跡の二遺跡では、七月と八月にそれぞれ地元説明会を開催いたしました。多くの方々に見学していただき、ありがとうございました。

さて、愛知県埋蔵文化財センターでは、毎年恒例の「**家族の絆作り事業『家族で歴史を体験発掘！』**」を今年も設楽町で行うことになりました。このイベントは、遺跡の体験発掘を通じて家族の絆を深めるもので、小中学生のお子様と一緒に参加することができるものです。昨年度は十月十八日に設楽町大名倉所在の西地・東地遺跡で体験発掘が行われ、六家族十四名が参加しました。どの家族も熱心に遺物包含層を掘削し、土器や石器が出土するのを目の当たりにして感動していました。**今年は十月十七日（土）に行う予定で、参加するためには事前にハガキで申し込む必要があります**。詳細な案内は下記のとおりですので、皆さんふるってご参加ください。

（愛知県埋蔵文化財センター　鈴木正貴）

家族の絆作り事業「家族で歴史を体験発掘！」

開催日　：平成２７年１０月１７日（土）
時　間　：午前１０時３０分～午後３時
集合場所：設楽町奥三河総合センター（田口字向木屋２－１０）
　　または JR 飯田線豊川駅東口
集合時間：午前１０時３０分（豊川駅の場合は午前９時）
発掘予定遺跡：笹平遺跡（予定）
　　※別の遺跡に変更する場合もあります
対　象　：小中学生とその家族
参加費　：無料
募集人員：１２家族（３５名前後）
募集期間：８月１７日（月）から９月１８日（金）先着順
応募方法：ハガキにて参加されるすべての方のお名前・年齢・ご住所・代表者の連絡先電話番号・希望の集合場所（奥三河総合センターまたは豊川駅）を明記の上、愛知県埋蔵文化財センターまで郵送してください。

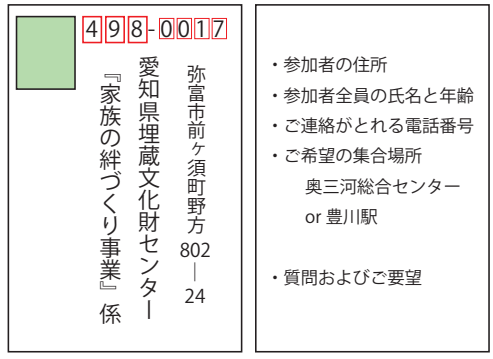
先着順で受付を行い、定員になり次第締め切ります。

応募者全員に参加の可否について連絡させていただきます。参加可能なご家族には、詳細についてご案内をお送りします。

詳しくは、愛知県埋蔵文化財センターのホームページ（http://www.maibun.com）をご覧ください。

なお、当日はテレビ愛知の取材があります。

<<応募はがき　記入方法>>



<はがき　表>　　<はがき　裏>

写真１　昨年の体験発掘（西地・東地遺跡）

川向東貝津遺跡の発掘調査

川向東貝津遺跡の調査は、15A区（調査区の東半部）の調査が終盤をむかえています。今回は、これまで出土した遺物をいくつか紹介したいと思います。

まずは石器です。今回の調査で出土した石器の多くは黒曜石もしくは凝灰岩（もしくはそれに類する白く風化した岩石）を石材として作られています。両方とも石器の石材としてはよくみられるものです。黒曜石はガラス質の岩石で、マグマが特殊な条件下で固まってできたものです。凝灰岩は白色の岩石で、火山灰が堆積してできたものです。

では具体的なものをいくつか紹介します。一つ目は石鏃です（写真2）。今回の調査では五点出土しています。石鏃はいわゆる矢じりのことで、矢の先につけて使います。縄文時代を通じてよくみられる石器です。今回出土している石鏃の石材はほとんどが黒曜石ですが、一点凝灰岩で作られたものも出土しています。

二つ目は尖頭器です（写真3）。今回の調査では五点出土しています。尖頭器は一般に槍の先に付けられていたと考えられています。旧石器時代から縄文時代の初頭にかけて見られる石器です。現在までに出土している尖頭器はすべて凝灰岩で作られています。

三つ目は石錐です（写真4）。今回の調査では一点のみ出土しています。石錐は皮革類や骨角器、石器等に穴をあける道具です。旧石器時代以降の長い時期にわたって見られる石器です。今回出土したものは黒曜石で作られており、先端部分は折れて失われています。

写真2　石鏃

写真3　尖頭器

写真4　石錐

次に、土器を紹介します。今回の調査では前号でもお伝えしたとおり、縄文時代中期～後期（およそ五千五百～四千年前）の土器が出土しています。この時期の土器にはいくつか特徴的な文様や装飾が見られます。そのひとつとして磨消縄文があります。これは囲んだ線の中に縄文を施した文様で、時期や地域によってさまざまなパターンが見られます。二〇一〇年の調査で出土した縄文時代後期初頭の埋甕にも磨消縄文が施されています。また、特に縄文時代中期は華麗な装飾を施した土器が多く作られた時期です。今回の調査で出土している土器はほとんどが破片の状態ですが、こうした特徴から縄文時代中期～後期の土器であると判断しています。

それでは、今回出土した土器の中でいくつか特徴的なものを紹介します。一つ目は、先月行われた地元説明会でも現地で見ていただいた埋甕です（写真5）。時期は縄文時代後期に位置します。上部は失われ底部付近のみではありますが、状態は比較的良く前述の磨消縄文も観察できます。また、この埋甕から東に約三・五メートルのところに別の埋甕が出土しました（写真6）。詳細な時期はまだ不明です。

この他に少し変わったものとしては、縄文時代中期後半の土器の脚台部があります（写真7）。上下逆さまの状態で出土しました。縄文などの文様や口縁部近くに装飾が施された土器の底部に取り付けられていたと考えられます。

今回紹介した遺物はほんの一部です。この他にも多くの遺物が出土しており、これからもさまざまなものが見られると思います。機会があればまた紹介しますので、ご期待ください。

（株式会社二友組　岩瀬大輔）

写真5　埋甕1

写真6　埋甕2

写真7　縄文土器脚台部

笹平遺跡の発掘調査

笹平遺跡では、現在、15B区（調査区北半）にて縄文時代の遺構を探して鋭意調査中です。毎日が暑さとの格闘ですが、ふとした瞬間に吹く風はとても心地よく、疲れを吹き飛ばしてくれます。

八月八日に開催しました地元説明会では、縄文時代の様々な遺物が出土していることをお伝えしました。今回はその中で石錘について紹介します。石錘とは、漁網などに用いられた「錘」のことで、平らな円礫の両端に紐掛け用の凹部が施されています。一般的に、製作方法の違いから、打欠石錘・切目石錘・有溝石錘の三種類に区分されています（写真8～10）。

打欠石錘は、長さが約八㎝、重さが百gを超え、他の二種類よりひと回り大きな印象を受けます。大小様々な出土例がある中で、百gを超えるものは漁網具としての錘かどうか、研究者間でも意見が分かれています。三種類の中で最も古く登場し、東海地方では早期（約一万二千～七千年前）から出土例が確認されています。切目石錘は長さが約五㎝、重さは三二・六gあります。有溝石錘は長さが約五㎝、重さが三〇・四gあります。石材をみてみると、打欠石錘・切目石錘は花こう岩もしくは砂岩が、有溝石錘は閃緑岩が用いられています。

石錘の用途として、漁網錘はあくまで一例に過ぎませんが、最も代表的な使われ方であることは間違いありません。笹平遺跡に限らず、この設楽町域で、縄文時代の人々が目の前を流れる川で網を使って魚を捕らえている姿を思い浮かべると、また一段と興味が湧いてきます。

（株式会社二友組　鷺坂有吾）

写真8　打欠石錘

写真9　切目石錘

写真10　有溝石錘

大栗遺跡の発掘調査

大栗遺跡は川向地区に位置し、戸神川の左岸段丘上から山麓にかけて立地しています。縄文時代・平安時代・室町時代～戦国時代の遺物が出土する地として知られている遺跡です。

大栗遺跡での調査期間は七月～九月ごろまでを予定しており、調査の都合上、調査区の東部を15A区、中部を15B区、西部を15C区とし、まず、15A区の表土掘削を開始しました。八月五日には、ラジコンヘリにより、15A区の調査完了写真を撮影することができました。15A区の西部からまとまって石器、土器が出土しました。縄文時代早期（約一万年前）の土器（写真11）、縄文時代晩期以降（約二千五百年前）の矢の先端部分の石鏃（写真12）が出土しました。写真11の縄文土器は、表面に多数の楕円形の模様が見られます。この模様は、畳に手を長時間突いていると畳の跡が手に残る原理と同じように楕円形の工具を押し当てて作られていたと考えられます。

これらの遺物は、15B区での調査にも期待が持てる成果となりました。皆さんに良い報告ができるよう一生懸命調査を進めていきます。

（株式会社二友組　杉山敬亮）

写真11　縄文土器

写真12　石鏃

川向東貝津遺跡 地元説明会を開催しました

さる7月4日（土）、現在発掘調査中の川向東貝津遺跡で地元説明会が開催されました。梅雨時の開催で、説明会開催直後から小雨が降るあいにくの天候でしたが、地元の方々、遺跡の愛好家、考古学の専門家や学生など、約八十名の方々に遺跡や出土品を見て頂くことができました。縄文時代の竪穴建物の跡、埋め込まれた状態の土器、石器の見事な細工や造形に参加した皆さんは興味津々のようでした。足元が悪いなか遺跡に足を運んで下さった皆さん、本当にありがとうございました。次回の説明会でもまたお会いできることを発掘調査スタッフ一同楽しみにしています。

（愛知県埋蔵文化財センター　早野浩二）

写真 13　地元説明会の様子 1
（上：全体説明、下：現地での詳細な説明）

写真 14　地元説明会の様子 2
（出土遺物の展示と解説）

設楽発掘通信
No.12
平成２７年８月号
編集・発行　公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
〒４９８-００１７　愛知県弥富市前ヶ須町野方８０２の２４
電話　（０５６７）６７-４１６１【管理課】　４１６３【調査課】
ホームページ　http://www.maibun.com
Facebook　https://www.facebook.com/maibunaichi
Twitter　https://twitter.com/aichi_maibun
印刷・協力　株式会社二友組